

社会福祉法人かがやけ福祉会

平成 27 年度 事業報告

法人本部	1 頁
かがやけ共同作業所	5 頁
かがやけ第 2 共同作業所	8 頁
グループホーム	1 1 頁
相談支援センターかがやけ	1 2 頁

2015年度 法人本部事業報告

1 理事会の開催 年4回開催した。

- 第1回理事会 (通算 99回) 2015年5月23日
第1号議案 2014年度 事業報告について
第2号議案 2014年度 決算報告について
第3号議案 監事監査について
第4号議案 かがやけ共同作業所の運営規程の改正について
第5号議案 かがやけ第2共同作業所の運営規程の改正について
第6号議案 かがやけ寮の運営規程の改正について
第7号議案 エタンセールの運営規程の改正について
第8号議案 虐待防止対応規程の制定について
第9号議案 損害金回収に伴う債権届出の継続について
- 第2回理事会 (通算 100回) 2015年10月24日
第1号議案 福祉・介護職員処遇改善加算I型の申請について
第2号議案 第1次3か年計画の実施状況について
第3号議案 評議員の選任について
- 第3回理事会 (通算 101回) 2016年1月23日
第1号議案 給与・退職金規程の改正について
第2号議案 個人情報保護規程の改正について
第3号議案 常用職員就業規則の改正について
第4号議案 期間契約職員就業規則の改正について
第5号議案 平成27年度第一次補正予算について
- 第4回理事会 (通算 102回) 2016年3月26日
第1号議案 2015年度 二次補正予算案について
第2号議案 退職金制度加入の変更について
第3号議案 2016年度 事業計画案について
第4号議案 2016年度 当初予算案について
第5号議案 2016年度 処遇改善手当について
第6号議案 2016年度 職員体制及び団体の派遣について

2 評議員会の開催 年4回開催した。

- 第1回評議員会 (通算 64回) 2015年5月23日
第1号議案 2014年度 事業報告について
第2号議案 2014年度 決算報告について

- 第3号議案 監事監査について
- 第4号議案 かがやけ共同作業所の運営規程の改正について
- 第5号議案 かがやけ第2共同作業所の運営規程の改正について
- 第6号議案 かがやけ寮の運営規程の改正について
- 第7号議案 エタンセールの運営規程の改正について
- 第8号議案 虐待防止対応規程の制定について
- 第9号議案 損害金回収に伴う債権届出の継続について

第2回評議員会（通算65回）2015年10月24日

- 第1号議案 福祉・介護職員処遇改善加算I型の申請について
- 第2号議案 第1次3か年計画の実施状況について
- 第3号議案 評議員の選任について

第3回評議員会（通算66回）2016年1月23日

- 第1号議案 給与・退職金規程改正について
- 第2号議案 個人情報保護規程の改正について
- 第3号議案 常用職員就業規則の改正について
- 第4号議案 期間契約職員就業規則の改正について
- 第5号議案 平成27年度 第一次補正予算について

第4回評議員会（通算67回）2016年3月26日

- 第1号議案 2015年度 二次補正予算案について
- 第2号議案 退職金制度加入の変更について
- 第3号議案 2016年度 事業計画案について
- 第4号議案 2016年度 当初予算案について
- 第5号議案 2016年度 処遇改善手当について
- 第6号議案 2016年度 職員体制及び団体の派遣について

3 借入金の償還

独立行政法人福祉医療機構への借入金を、以下のように償還した。

1) かがやけ共同作業所建設借入金分として（1997年5,000万円借入）

（単位：円）

	元金	利息	合計	償還日
第35回次	0	72,500	72,500	2015.9.3
第36回次	2,500,000	72,500	2,572,500	2016.3.1
合計	2,500,000	145,000	2,645,000	

残高 2,500,000円

最終償還日 2017年3月10日

2) エタンセール建設借入金分として (2002年 2,230万円借入)

(単位:円)

	元金	利息	合計	償還日
第24回次	1,480,000	33,300	1,524,400	2015.9.3
第25回次		22,200	22,200	2016.3.1
合計	1,480,000	55,500	1,535,500	

残高 2,960,000円

最終償還日 2017年9月10日

3) かがやけ第2共同作業所建設借入金分として (2004年 5,250万円借入)

(単位:円)

	元金	利息	合計	償還期日
第20回次	2,620,000	209,600	2,829,600	2015.5.13
第19回次		188,640	188,640	2015.11.9
合計	2,620,000	398,240	3,018,240	

残高 23,580,000円

最終償還日 2024年5月10日

4 事業の展開

(1) 第二種社会福祉事業障害福祉サービス事業の経営

- ・ 生活介護 かがやけ共同作業所
- ・ 就労継続支援B型 かがやけ第2共同作業所
- ・ 相談支援事業 相談支援センターかがやけ
- ・ 共同生活援助(介護サービス包括型事業所) かがやけ寮
(ユニット かがやけ寮、リベルテ)
- ・ 共同生活援助(介護サービス包括型事業所) エタンセール
(ユニット エタンセール、アルクアンシェル)

(2) 公益事業

- ・ 葛飾区より在宅心身障害者緊急一時保護事業の受託

5 今年度の事業報告

(1) 理念の実現

理念全体職員会議を開催し、理念の具体化を目指して、話し合いを進めた。更に「4つの取り組むこと」に対し、理念実現をめざし、主体的に実践していけるよう、全体会の中で、一人ひとりが自分の目標を記述し日々の実践に生かせるようにしてきた。

(2) 理事体制の強化

理事長、常務理事、理事の役割を明確にし、経営、運営に責任を持った体制にした。事務局会議を週1回開催し、理事会の内容、法人の課題について論議し、経営の安定、組織強化を図った。

拡大法人事務局会議を、月1回開催し、法人・各事業所の経営状態の確認、今後の課題について、広い視点での検討を重ねてきた。

(3) 組織体制の確立

管理職である施設長、副施設長が経営の視点を持ち、日々の事業所運営をしていくために、東京都福祉施設士会主催の福祉経営塾やきょうされん主催の経営管理者研修会に積極的に参加し、学んできた。

(4) グループホームの定員増

物件をあたり、検討したが実現にはいたらなかった。
法人の希望物件の条件を整備した。

(5) 財政基盤の確立。

財政10か年計画の策定に着手することができた。

(6) 保護者会。運営協議会の充実

運営協議会を、月1回開催し、各事業所の運営や利用者への支援に関して意見の交換、情報の交換等を行い、今年度は、葛飾区内のグループホームの見学をした。

合同保護者会にて、葛飾区障害福祉課課長を招き、成年後見人制度について学習した。

(7) 内部監査の充実

法人内での内部監査（5月、11月）を実施するとともに、監事による中間監査（12月）を実施し、業務内容を見直す機会を設けた。

(8) 法人ホームページを充実

2015年3月に、かがやけ福祉会ホームページのオリジナル版を開設し、義務づけされている財務状況等の情報公開を行うとともに、法人の紹介、職員募集、各施設でのとりくみや自主製品コーナーを充実させた。

かがやけ第2共同作業所のお弁当のメニューを、毎月ホームページに載せPRした。

(9) 3カ年計画に基づき、事業を確実に実施する。

2013年から始まった3カ年計画は、法人運営の基礎を固めるため、理念の再構築を大きな目標とした。理念プロジェクトチームを作り、職員全体会を毎年開催し、全職員で理念をまとめあげ、全職員でそれを共有できたことは大きな成果である。

(10) 人財育成

全職員対象に、2回講演会を行い、学びあい、日々の実践に生かし、支援の質を高めた。

7月31日 テーマ「実践の基本」 講師 奥山直廣氏

2月6日 テーマ「発達保障」 講師 品川文雄氏

2月10日に実践報告会を開催し、事業所の実践の交流をおこなった。

2015年度採用の新規正規職員に対して、昨年に引き続き、チューターを配置し、職員育成の充実を図るとともに、法人主催の新規職員研修の実施、更に、(株)ラーニングスクエアによる研修システムを活用した研修を開催した。キャリアパス要件を整備した。

また、各施設において、東京都社会福祉協議会主催の階層別研修の受講など、人財育成に努めた。

(11)将来計画策定

具体的に着手することはできなかった。

2015年度 かがやけ共同作業所事業報告

2015年度は、4月に葛飾特別支援学校と越谷特別支援学校から各1名の新入所者を迎え、年度当初利用者数は54名、年度内の退所者はなかった。年間平均利用率は89%で比較的高い利用率を維持することが出来た。

生産活動(作業)については、年度前半は支援員が充足できなかったため、自主製品の製造と売り上げが昨年度を下回り、就労支援事業収入が当初予算に届かなかった。そのため年度末手当を昨年度の5,000円から1,000円に減額した。

利用者支援については、昨年度から始めた機能訓練について、一部の利用者対象であるが、班ごとに定期的に実施した。東京善意銀行の助成で利用者用のパソコン、愛の福祉基金の助成を受けて車いす用体重計を購入した。家族向けに、成年後見制度についての学習会を開催した。

健康管理については、今年度も所内にて希望者にインフルザ予防接種を実施し、所内消毒を早期から実施した結果、インフルエンザ発症者は3名、ウィルス性胃腸炎の発症者はなかった。

職員の資質向上については、法人全体で支援の基本や発達保障についての学習会を実施した。期間契約職員の人数が増えたため、従来は常用職員のみ対象にしていた階層別の外部研修に期間契約職員も派遣し、意欲的に参加する様子がみられた。

第三者評価を11月に受審し、チューター制度やポートフォリオ研修など、職員育成の仕組みが整備されてきているとの評価を受けた。

災害対策として、葛飾区と細田三丁目町会の協力を受け、3月に福祉避難所設置運営訓練を実施するとともに、赤十字の減災セミナーを受講した。

労働基準監督署の指導により、職員の健康診断結果について2次検診の勧奨と医師の意見聴取を行った。

I 利用者状況

1. 事業種別 定員

- ・事業種別 生活介護事業
- ・定員 55名

2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	52	54	54	54	54	54
当月初	54	54	54	54	54	54
当月末	54	54	54	54	54	54
入所者	2	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率(%)	88	92	89	88	88	90
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	54	54	54	54	54	54
当月初	54	54	54	54	54	54
当月末	54	54	54	54	54	54
入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率(%)	85	89	91	88	89	87

- ・入所者 4月1日 東京都立葛飾特別支援学校から1名入所
4月1日 埼玉県立越谷特別支援学校から1名入所
- ・年間平均利用率 89%

3. 男女別 男性30名 女性24名

4. 居住地別 葛飾区 50名 足立区 1名 三郷市1名 白井市 1名 松戸市 1名

5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均年齢
男	2	5	5	9	6	2	1	42歳
女	0	5	3	9	4	3	0	42歳
計	2	10	8	18	10	5	1	42歳
%	4	19	15	33	18	9	2	

6. 障害支援区分別

区分	人数
6	17
5	15
4	8
3	14
2	0
1	0
未判定	0
合計	54

※平均区分4.6

7. 通所方法	送迎利用者	41名 (全6コース)
	家族送迎者	3名
	自主通所者	10名

2016年3月31日現在

II 職員状況

1. 職員配置

1) 管理者	1名 (常勤1名)
2) サービス管理責任者	1名 (常勤1名)
3) 生活支援員	13名 (常勤12名、非常勤1名)
4) 看護職員	1名 (非常勤1名)
5) 栄養士	1名 (常勤1名)
6) 調理員	3名 (非常勤3名)
7) 事務員	1名 (常勤1名)

※兼務表記省略 2015年4月1日現在

2. 職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	16	16	16	17	17	18
非常勤	5	6	7	8	8	8
計	21	22	23	25	25	26
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	18	18	18	18	18	18
非常勤	8	9	8	7	7	6
計	26	27	26	25	25	24

各月当初人数

2014年度 かがやけ第2共同作業所事業報告

利用者の入所は、葛飾特別支援学校新卒者1名を迎え、退所者は他事業所への異動2名、年間平均利用率は88%だった。

調理班は日常の弁当配食の他に保育園や小学校、中学校などの行事等での大口の弁当注文を受けた。

お菓子班は原材料の高騰が続いたため商品の値段改正を行った(値上げによる影響は無かった)また、今年新たに特別支援学校と高齢者地域包括支援センターの主催する憩いの場で定期的な販売先を得ることができ見通しを持ってお菓子作りに取り組み、収入アップにつなげている。喫茶店は地域の方の集いの場となっている。

公園清掃・トイレ清掃は、毎日の取り組みで利用者一人一人の清掃作業の力もつき、リーダーを中心としてお互いに協力し意欲的に取り組んできた。

受注作業については、3社新たな会社から連絡があり積極的に請け負った。しかし一度受注したのみでそれ以後連絡がなく継続した受注会社には至らなかった。

利用者工賃は一人月平均18,242円と前年度(17,312円)より930円アップすることが出来た。

就労については就労支援員を中心に企業見学会や講習会、様々な実習など積極的に就労支援活動を行ったが就労者を出すことが出来なかった。

生活面では昨年同様、利用者が自分の将来の生活をイメージできるよう区内のグループホームや都下にあるグループホームに足を延ばし見学に取り組んだ。

その他、重点項目の一つ「権利条約を利用者・職員ともに自分たちのものになるような学習会を行う」については他団体から講師を招き学習会を実施することができた。学習会の中で利用者から「親とは別にここで住みたい!」という意見も出て有意義な時間を持つことができた。

第三者評価を11月に受審し、チューター制度やポートフォリオ研修など、職員育成の仕組みが整備されてきているとの評価を受けた。

I 利用者状況

1. 事業種別 定員

- ・事業種別 就労継続支援B型
- ・定員 60名

2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	53	54	54	54	54	54
当月初	54	54	54	54	54	54
当月末	54	54	54	54	54	54
新入所者	1	0	0	0	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0
利用率	91	91	90	89	89	86
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	54	53	53	53	53	53
当月初	54	53	53	53	53	53
当月末	53	53	53	53	53	52
新入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	1	0	0	0	0	1
利用率	86	90	89	87	86	88

利用率平均88%

入所者：4月1日東京都立葛飾特別支援学校卒1名、

退所者：10月24日他事業所へ1名、3月31日他事業所へ1名

3. 男女別 男性36名 女17名

4. 居住地別 葛飾区53名

5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢
男	0	13	11	6	4	1	36名	36歳0ヶ月
女	1	8	6	1	0	1	16名	33歳7ヶ月
計	1	21	17	7	4	2	52名	35歳3ヶ月
%	1.9	39.7	32.0	15.0	7.6	3.8		

6. 障害支援区分別

区分	人数
6	0
5	0
4	6
3	12
2	10
1	0
未判定	24
合計	52

7. 通所方法 自主通所 53名 2016年3月31日現在

II 職員状況

1. 職員配置

- 1) 管理者 1名 (常勤1名)
- 2) サービス管理責任者 1名 (常勤1名)
- 3) 生活支援員 1名 (常勤1名)
- 4) 職業指導員 8名 (常勤5名・非常勤3名)
- 5) 目標工賃達成指導員 1名 (常勤1名)
- 6) 就労支援員 1名 (常勤1名作業指導員兼務)
- 7) 栄養士 1名 (常勤1名)
- 8) 調理員 2名 (常勤1名・非常勤1名)
- 9) 事務 1名 (常勤1名)

2015年4月1日現在

2. 職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
正職員	12	12	12	12	12	12
非常勤	4	4	4	4	4	4
計	16	16	16	16	16	16
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
正職員	12	12	12	12	12	12
非常勤	4	4	4	4	4	4
計	16	16	16	16	16	16

各月当初人員

2015年度 グループホーム事業報告

入居者一人ひとりがゆたかな生活をおくるため、季節ごとの全体行事、ホームごとの行事、一人ひとりの余暇活動を重視した。

その中で、普段とはちがった入居者の生き生きとした楽しい様子が多くみられ、生活の幅もひろがった。

アルクアンシエルは、消防法改正により、6項の(ロ)に該当する建物であることから、スプリンクラーの設置が義務化(27年4月1日施行)されたため、スプリンクラーを設置する計画を立てたが、賃貸契約の更新交渉で時間を要したため、2016年度に計画を見送ることにした。

I 利用者状況

2016年3月31日現在

1 定員と現員

(単位：人)

ケアホーム	ユニット	開設年月日	定員	現員		
				男性	女性	合計
かがやけ寮	かがやけ寮	H11. 12. 1	4	3	1	4
	リベルテ	H24. 4. 1	4	3	1	4
エタンセール	エタンセール	H14. 3. 1	7	4	3	7
	アルクアンシエル	H18. 5. 1	6	4	2	6

2 入居者の状況 (年齢の状況)

ユニット	20代	30代	40代	50代	60代	合計
かがやけ寮			1	2	1	4
リベルテ		1	1	2		4
エタンセール		1	5	1		7
アルクアンシエル	1	2	3			6
合計	1	4	10	5	1	21

3 入居者の状況 (年齢の状況)

ユニット	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
かがやけ寮			4				4
リベルテ			1	1	2		4
エタンセール				2	1	4	7
アルクアンシエル				1	4	1	6
合計			5	4	7	5	21

平均区分 4.6

II 職員状況

2016年4月1日現在

1. 職員配置

- | | | | |
|---|-----------|---------|------------------------------|
| 1 | 管理者 | 1名 | (正規職員) |
| 2 | サービス管理責任者 | かがやけ寮1名 | (正規職員1名)
エタンセール1名(正規職員1名) |
| 3 | 世話人 | 7名 | (正規6名、非常勤1名) |
| 4 | 生活支援員 | 18名 | (非常勤5名 パート13名) |
| 5 | 調理員 | 3名 | |

2015年度 相談支援センターかがやけ事業報告

相談支援事業を開始し2年半が経過し、かがやけ福祉会が運営をしている事業所の利用者に対して、ほぼ全員分のサービス等利用計画の策定を行うことが出来た。また、モニタリングを行うことで、当初の計画の見直しや、利用者の要望を踏まえ新たな障害福祉サービス利用につながるよう支援を行ったり、支給量変更等の計画づくりを行ってきた。

今年度の事業計画で、かがやけ福祉会が運営している事業所以外で、障害福祉サービス事業を利用している方へのサービス等利用計画の策定を進めてきたが、新たな利用者とのつながりがなかなか進まず、当年度は計4名の計画策定となった。

65歳以上の利用者で、障害福祉サービスと介護保険サービスの併用を行っている利用者もおり、介護保険サービス利用の優先原則との関係で、今後、障害福祉サービスの利用が困難となってくる事例も想定されてくる。

相談支援専門員としての専門知識の習得や支援技術向上のため、積極的に研修に参加をしてきた。特に葛飾区主催(身体・知的相談支援部会・分科会一サロン)の研修への参加および、企画委員として1名、相談支援専門員初任者研修・相談支援専門員研修の運営に携わってきた。その中で、他事業所の相談支援専門員との交流や連携を深めることができた。

相談支援事業に関連して、地域の関係団体主催の相談会への相談員の派遣を行ってきた。

◎事業種別

指定特定相談支援事業

I 利用者状況

1. 各月サービス等利用計画・モニタリング策定数

	サービス等 利用計画	モニタリン グ	小計 (件)		サービス等 利用計画	モニタリン グ	小計 (件)
4月	4	3	7	10月	15	1	16
5月	8	3	11	11月	9	0	9
6月	14	4	18	12月	5	1	6
7月	8	2	10	1月	6	3	9
8月	8	2	10	2月	9	5	14
9月	11	2	16	3月	12	2	14
小計	53	19	72	小計	56	12	68
				合計	109	31	140

II 職員状況

1. 職員配置

- 1) 管理者 1名 (相談支援専門員兼務)
- 2) 相談支援専門員 2名